

令和2年7月31日

全日本学生空手道連盟
各地区理事長・事務局長 殿

(一社) 全日本学生空手道連盟
理事長 松倉栄重

新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

(一社) 全日本学生空手道連盟は、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため全ての関係者へさらなる自重を促し、本連盟関係者から絶対に感染者を出さない為、感染拡大防止ガイドラインを作成しました。

大学空手道部の活動目的は、武道・スポーツを通じ健全な精神と健康維持の増進、併せて文武の両立を実践し社会へ貢献する人材を育成することです。

各々大学の指導方針に従い、また政府ならびに地方自治体の行政等にも配慮しながらあくまでも学生選手の安全安心を最優先し、万全を期して練習等に取り組んでいただきますようお願いいたします。

東京・大阪を始め大都市では、現在感染者が増え続け予断を許さない状況となっており収束の見通しがついていませんので、当面(9月上旬迄)は練習試合、遠征しての練習・合宿練習、地区大会の開催及び参加、各種研修会、審査会などへの選手派遣は大学側の許可がない場合は自粛するようお願い致します。

尚、不要不急の外出を慎み、特に夜間の飲食店や繁華街等(カラオケ店も含む)や人通りの多い場所を避け、感染しないさせないためにも感染拡大防止ガイドラインを遵守し、より一層健全な学生生活に勤しみこの難関を乗り越えるために、各大学指導者から部員へ徹底指導下さるよう要請します。

以上

（一社）全日本学生空手道連盟

新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン



（一社）全日本学生空手道連盟

2020年7月31日作成

感染防止対策ガイドライン

(一社)全日本学生空手道連盟では、新型コロナウイルス感染拡大を抑えるべく注意喚起を促し、本連盟関係者から一人も感染者が出ないようにする為に、感染拡大防止ガイドラインを作成致しました。

大学空手道部の部活動は、スポーツを通じて健全な精神と健康づくりが一番の目的であり、行政の方針を踏まえた上で、各大学側の方針に従いながら焦らず慎重に、練習再開の時期を判断するようにして下さい。

現時点では、大都市部では予断を許さない状況が続いておりまだまだ先が見えていないのが現状である為、当面の間練習試合、遠征練習、合宿、各地区大会の開催及び参加、各種研修会などへ選手の派遣も大学側の承諾を得ない限り活動の自粛をお願い致します。

また、不要な外出を控え特に夜の繁華街等への外出や人の多い場所への外出を避け、感染しないように細心の注意を払うべく各大学指導者より徹底して指導して下さい。

練習及び前後の必須事項について

練習再開については、各大学の指導方針に従って下さい。

1. 練習日・練習時間等は、大学側と適宜相談して決めて下さい。
2. 練習前に手・指及び道場の消毒の実施。（ドアノブ等も含む）
3. 日頃から手洗い・うがい・消毒の実施。
4. 3密を避け道場や部室の換気を常に行い同じ場所に10人以上集まらないようにして下さい。
5. 練習前に必ず検温を実施し健康管理に十分配慮して下さい。
6. ソーシャルディスタンスを保ち練習を行って下さい。
7. 「気合い」は飛沫感染防止のため無発声で行って下さい。
8. 短い間隔で休憩をとり水分補給や塩分補給を適切に行い熱中症対策も行って下さい。（30分に1度、5分～10分程度）
9. 長時間の練習は当面避けて、部員数の多い場合は、2部制・3部制で練習し、段階的に練習量を増やしていくようにして下さい。
10. 練習以外では、指導者・学生もマスクを必ず着用して下さい。

感染発生時の対応

1. 事前に所轄の保健所等の連絡先を把握し、速やかに連絡出来るように備えて下さい。
2. 練習参加者の記録を残し追跡調査が出来るようにして下さい。
3. 感染や濃厚接触等の疑いがある場合は、所轄の保健所に連絡し、その指示に従って下さい。
4. 感染者が出た場合は、各地区連盟へ状況を連絡して下さい。
5. 感染者が出た場合は、各地区の連盟を通じて（一社）全日本学生空手道連盟 事務局まで報告をお願い致します。